

入学式式辞

昼まで降っていた雨もやみ、街角の花が色とりどりに美しく咲き、春の訪れを感じるこのよき日に、成城高等学校定時制の課程の入学式を挙行し、新入生を迎えることができましたことを、たいへん嬉しく思っています。

新入生のみなさん。ご入学、おめでとうございます。今日から、皆さんは成城高等学校の一員です。ここに緊張のなかに、正面を見据え座っている皆さんを頼もしく思います。

保護者の皆様。本日は、おめでとうございます。こころからお祝いを申しあげます。これまでのご苦労へのねぎらいを申しあげますとともに、これからは、教職員一同とともに手を取りあって、高校生活での成長のため力をだしあってまいりましょう。本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

さて、新入生の皆さん。この成城高校定時制の課程は、定時制の工業高校をルーツに50年以上の歴史があります。一月前には、30人の先輩たちがこの学校を卒業しました。そしてこれまで、およそ3000人以上の生徒たちが学び、そして社会へと羽ばたいていきました。昼に働き、夜に学ぶというスタイルは昔の工業高校の時代から変わっていませんが、学習内容は総合学科として、みなさんの興味、関心に応じた多彩な科目が、そして小中学校の学び直しの学習や受験を意識した発展学習が設定されています。さらに、教職員は生徒にやさしく長所を伸ばすために、生徒一人ひとりに手厚く、きめ細やかに対応できる体制で指導や支援をすることが特徴になっています。

この学校で学んでいくこと、成長していくために、私から皆さんが実行して欲しいことがあります。

それは、この成城高校の伝統でもあり、校訓として正門の石碑に示されている「誠実明朗」「自発創生」そして「和親協力」ということです。50年も前から校訓として定められています。このなかで、特に「和親協力」を実行してください。

「和親」、つまり仲間や先輩、後輩で仲良くすること。「協力」、皆で助けあうこと。この校訓は、本校の伝統であり、教育活動の精神として、すべての場面で生かされています。日々の教室での勉強や、さまざまな実習。盛り上がる体育祭や文化祭。修学旅行や遠足、部活動など。一人でするのではなく、互いに協力しあうことを本校では学んでいって欲しいと思います。これまでの先輩たちも、この学校の一員として仲良くし、協力しあい、成長していきました。皆さんも、ここでともに学んでいくことで成長していくことを期待しています。「和親協力」です。仲良く助け合っいてください。夜に学ぶということと、「和親協力」を通じて、ここに座っている皆さんの成長していく数年後がとても楽しみです。

以上を持ちまして、簡単ではありますが私からの入学式の式辞といたします。